

事業番号	10 05 01	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	狩猟対策事業費			担当課	部局	林務部	
					課・局・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-4 森林を生かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	S33 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	○鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、狩猟の適正化を図るとともに、「鳥獣の保護を図るため事業を実施するための基本的な指針」に基づく狩猟者の確保及び安全狩猟のための技術の向上を図る。						
現状（予算編成時）	○狩猟免許を取得しようとする者に対し試験を実施するとともに、狩猟者登録を受ける者に対する登録事務を実施する。また狩猟者の技術向上を図り事故を未然に防止するための実技講習を実施するとともに、訓練で使用する射撃場を計画的に整備する必要がある。 ・狩猟免許取得者数 平成27年697人（見込） ・狩猟者登録者数 平成27年度5,900人（見込） ・H26講習会実施回数：県内10会場（受講者552人） ・射撃場整備内容（H27年度）：ライフル射撃場のバップル改修						
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、第11次鳥獣保護管理事業計画、長野県営射撃場条例				
	県民との協働による実施：実施は困難						
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28） ○狩猟者登録者の確保 5,915人 根拠：過去5年間平均登録者数 ○安全狩猟実技訓練講習会の開催回数10回 根拠：講習対象者の参加を促進するため、広域市町村圏単位で開催 講習受講予定人数1,000人 根拠：銃猟者（過去5年間平均受講者560人）とわな免許新規取得者見込み（440人） 県営射撃場利用者数の確保 4,500人／年度の利用 根拠：過去3年間平均利用者数						
	② 事業内容 (単位：千円)						
		項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
					(当初)	(決算)	(当初)
	免許等事務費	直接	狩猟免許試験 年4回実施 合格者人数延べ516人 狩猟者登録人数 延べ6,017人	3,636	3,285	3,636	
	狩猟免許講習実施事業	直接	初心者狩猟免許講習会 延べ19回 免許更新時講習 延べ13回 1,369人更新	3,633	2,937	4,750	
	安全狩猟実技訓練講習委託	委託	講習会14回開催 わな講習294人 銃猟講習656人 計950人参加	2,292	2,268	2,354	
	県営射撃場運営事業	直接	射撃場侵入防止柵設置L=330m	1,242	1,145	1,186	
			合計	10,803	9,635	11,926	

事業コスト	区分(単位：千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	16,324	10,803	11,926				目標	成果		達成状況
	補正予算				狩猟者登録者数	5,765人	6,061人	5,915人	6,017人	達成	—
	合計(A)	16,324	10,803	11,926	安全講習会実施回数	10回	10回	10回	14回	達成	—
	一般財源	6,373	3,534	3,540	射撃場利用者数の確保	4,262人	4,309人	4,500人	4,501人	達成	—
	県債										
	国庫支出金										
	その他	9,951	7,269	8,386							
	決算額(B)	15,379	9,635								
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00								
概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914								
概算事業費(B(A)+C)	23,655	17,549	19,840								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・狩猟者登録者数は、実技訓練講習等により狩猟者育成に努め、目標を上回る人数の登録があった。 ・実技訓練講習会については、広域市町村単位で複数回開催出来た場所もあったため、目標を上回る成果を得られた。 ・銃猟者数が減少傾向にある中、県営射撃場の整備に努め、指定管理者の努力もあり利用者数が目標に達することができた。
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・安全及び適正な狩猟のため、講習会や射撃場の整備により技術向上を図るとともに、捕獲の担い手となる狩猟者の確保のため、免許講習等の事業を継続して実施する。